
第2版はしがき

2009年3月に初版を刊行してから、約4年が経過した。

この間、求職者支援法が成立し、育児介護休業法、雇用保険法、労働契約法、労働者派遣法、高年齢者雇用安定法の改正など、重要な法改正が行われた。また裁判例上も、労働組合法上の労働者性や違法派遣における労働契約関係について判断を示した最高裁判決をはじめ、多くの注目すべき裁判例が登場し、様々な分野で進展が見られた。

第2版では、これらの立法や判例の動きを盛り込むとともに、判例紹介で取り上げた判決を一部追加・変更し、統計を最新の数値に修正した。また、就業規則については、労働契約法施行後の学説や判例の発展を踏まえて記述を改めた。

本書第2版でも初版と同様に、読者が労働法の全体を体系的に把握しながら必要十分な知識を得られるよう、明快な記述を心がけるとともに、理論的に重要な問題については結論だけでなく法的な考え方の道筋を示すように努めた。本書が、労働関係において生じる様々な問題の成り立ちを理解し、法的に考察する力をつけたいと望む読者のお役に立つことができれば幸いである。

改訂にあたっては、初版に引き続き、有斐閣書籍編集第一部の柳澤雅俊さんに行き届いたお世話をいただいた。心から感謝申し上げたい。

2013年2月

著者を代表して

両角道代